

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社リボン	代表者	飛田 尚文	法人・事業所の特徴	当社は総合福祉サービスを展開しており、様々な事業展開を行っています。当事業所は「ファミリアいしづかの理念」に基づき、馴染みの地域でいつまでも安心・安全に過ごせるように、家族や地域の人々と共に支援できる関係作りを特徴とする事業所です。
事業所名	ファミリアいしづか	管理者	藤井 由紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	人	人	1人	人	5人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所自己評価の改善計画を貼り出し、職員がいつでも意識出来る様にする。	・職員休憩室に事業所自己評価の改善計画を貼り出し、いつでも閲覧できるようにした。	・人権プライバシーの項目で個人情報管理には不備の無いようお願いしたい。 ・「地域の資源」等、解らない言葉を疑問のままにしているか。→職員間では、解らないままにせず、共有している。	・職員の会話から、他者が利用者情報を得る事の無いよう個人情報管理を徹底する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・「高齢者施設があるので、安全に運転しましょう」と、看板の設置を検討する。	・検討するも、スピードを出す通行車両も無い為、様子を見る。 スピードを出す通行車両が頻繁になった場合は、両町内会長に相談することとした。	・居心地のいい空間を優先すると、こたつや畳等で、動線上の安全面が不安になる。工夫が必要だ。	・年に3回の大掃除を実施し、居心地のいい空間を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・「いきいきルームいしづか」を継続し、地域の方がいつでも相談に来れる場所作りを行う。	・「いきいきルームいしづか」で何をしたら、地域の方に喜んで頂けるかを、職員全員で考え企画を行った。継続する事は出来たが、少数の方の来所であり、今後の課題である。	・地域の運動会参加や、中央小学校文化祭に作品を出品している。 ・冬期間は「いきいきルームいしづか」は休んでいるが、感染症の時期なのでよいと思う。	・「いきいきルームいしづか」で何をしたら、地域の方が来て頂けるかを職員全員で考え企画を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者の住む地域のスーパーなどにお連れし、顔なじみの方と交流する。 ・事業所だけで問題を解決しようとせず、民生委員・町内会長など、地域の方に相談する。	・必要な方への個別支援を行い、利用者の住む地域のスーパー等にお連れした。顔なじみの方と会えた方もいた。 ・問題がある時は、市役所や医療と連携した。必要に応じ、民生委員と連絡をとった。	・両町内会でも高齢者、一人暮らしの方が増えている。冬期間の除雪等、隣近所で助け合っているが、町内としてどう取り組むか課題になっている。 大崎町公民館の屋根からの落雪に注意して頂きたい。	・地域の行事参加や、散歩等で地域の方と顔を合わせる機会を作り、利用者の顔を覚えてもらえる取組みを行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議で、利用者だけでなく、地域の心配の方等の事例検討を行う。	・運営推進会議で、利用者だけでなく、地域の心配の方等の事例検討の時間を持つことが出来た。 今後も、投げかけを行い、相談し易い会議作りをしていく。	・ヒヤリハットは、日時だけの記載になっている。時間だけでなく、曜日によってヒヤリハットが多く出ている検討が出来ること等、曜日も記入したほうが良い。	ヒヤリハット・事故報告は日時だけでなく、曜日も記入する。
F. 事業所の防災・災害対策	・年に2回の防災訓練の想定を変え、いろいろな状況での訓練を行う。	・年に2回の防災訓練の想定を変え、訓練を行うことが出来た。 (夜間での地震からの火災発生) (大雨による水害)	・大雨時の防災マップはあるか。危険区域に利用者がある場合、いち早く対応して欲しい。 ・矢代川は危険箇所が何か所かある。矢代川の雑木撤去が進まない。	・引き続き、年に2回の防災訓練の想定を変え、色々な状況での訓練を行う。